

浅間山麓

未来への遺産

Vol.107

破壊された

5000年前の蛇じやたい体



蛇体部の復元された縄文土器(豊昇宮平遺跡 5000年前)



宮平遺跡の発掘調査の様子

縄文人にとって蛇、とくにマムシは畏怖の存在であった。咬まれた場合、死にいたらしめる毒をもつことを知っていたからである。

そんなこともあつてか、縄文土器にはしばしばマムシとみられる蛇の装飾がつけられることがある。マムシのほかには、サンショウウオウオやカエルとみられる生き物がつけられる場合もある。

昨年、豊昇宮平遺跡の5000年前の住居跡から発見された縄文土器には、わずかに蛇の装飾の一部が残されていた。ただ、肝心の蛇の頭部は失われて、いくら探しても見つからなかった。

こうした最も重要な部分だけが欠けて、ついにはその部分が見つからない縄文土器に遭遇することとはしばしばある。おそらく縄文人は、縄文土器を捨て去るときに、いわば魂のこもった主要な部分を壊して、天に送るといって「送りの儀礼」を行っていたものと考えられる。

神秘的な縄文の暮らしと信仰を、縄文土器は5000年後の私たちに垣間見せてくれるのである。

(広告欄)

**東日本大震災復興支援
第2回 信州すくませ落語会
瀧川鯉昇・柳家喜多八二人会**

■日時/9月17日(月・祝) 16:00~
■会場/佐久勤労者福祉センターホール
(全席自由席)
■料金/大人2000円、小中高生1000円(予定)

お問い合わせはこちらまで
信州すくませ落語会事務局 大井建設工業(株)
TEL.0267-32-3333

落語会の収益金(経費除く)は東日本大震災で被害を受けた方のために日本赤十字に寄付致します。

この落語会は、収益金の全額を東日本大震災の義援金として日本赤十字社に寄付いたします。お忙しい時期とは思いますが、今年もご協力をお願いします。

【追伸】
昨年は、皆さまのご支援のもと51万3,409円寄付させていただきました。

信州すくませ落語会
事務局長 **大井康史**

**第2回 信州すくませ落語会開催
「チケット発売中」**

昨年、大好評をいただいたチャリティー落語会を今年も開催することになりました。昨年同様、瀧川鯉昇、柳家喜多八師匠の軽妙な落語をお楽しみいただけます。

昨年、大好評をいただいたチャリティー落語会を今年も開催することになりました。昨年同様、瀧川鯉昇、柳家喜多八師匠の軽妙な落語をお楽しみいただけます。


柳家喜多八師匠


瀧川鯉昇師匠


コント赤信号
小宮孝泰
友情特別出演決定